

平成30年度 愛知学泉短期大学シラバス

科目番号	科目名	担当者名	基礎・専門別	単位数	選択・必修別	開講年次・時期
52305	保育内容(環境) Child-care Contents (Environment)	岡田 真智子 伊藤 照 美	専門	1	必修	1年前期
科目の概要						
<p>環境を通しての保育と言われ、子どもの成長発達にとってどのような環境がよいのか。また、子どもを取り巻く身近な環境(自然・社会・遊び・文化など)について理解する。</p> <p>望ましい環境の構成は、どのようにすればよいかなど、「環境」の講義を基礎におき学習する。</p> <p>体験学習として、野菜や花の栽培、自然観察等の具体的な体験を通し、「環境」を理解し、生命の大切さ尊さに気づき保育者として幼児に伝える方法を身につける。また専門的知識・技能を習得し、それぞれの現場で協調性をもって柔軟に活用出来ること。</p>						
学修内容			到達目標			
<p>① 保育の環境とは何か、環境構成とはどのようなことかについて学習する。</p> <p>② 幼稚園教育要領・保育所保育指針における「環境」領域のねらいと内容を理解する。</p> <p>③ 野菜や花の栽培や自然観察を通して実践的な力を習得する。</p> <p>④ 子どもを取り巻くすべてが領域環境であることを理解する</p> <p>⑤ 安全教育、近隣社会との関連性を理解する</p>			<p>① 保育における環境とは何を指すのか理解する</p> <p>② 幼稚園教育要領・保育所保育指針における領域環境のねらいと内容を理解する</p> <p>③ 野菜や花の栽培や自然観察を通し実践力を身につける</p> <p>④ 子どもを取り巻く環境と保育内容の環境との関連性を理解する</p> <p>⑤ 安全教育、近隣社会との関連を具体的に理解する</p>			
学生に発揮させる社会人基礎力の能力要素		学生に求める社会人基礎力の能力要素の具体的行動事例				
前に踏み出す力	主体性	環境に関心を持ち、積極的に授業に参加する。				
	働きかけ力					
考え抜く力	実行力	畑や花壇の様子を気にかけて授業以外でも世話ができる。				
	課題発見力	保育の環境に興味を持ち、保育内容に結び付け考えることができる。				
	計画力					
チームで働く力	創造力	課題を実現できるように考え、保育実践に活かすことができる。				
	発信力	自分の考えをまとめ、相手に理解しやすく伝えることができる。				
	傾聴力	相手の考えを引き出し、要点をまとめることができる。				
	柔軟性					
	状況把握力					
	規律性	授業は無断欠席、遅刻、私語など慎み、グループ活動に対して役割意識を持ち積極的に参加し円滑にできるようにする。				
	ストレスコントロール力					
テキスト及び参考文献						
<p>テキスト: 保育内容「環境」(株)みらい</p> <p>参考文献: 「幼稚園教育要領解説」の保育内容環境・「保育所保育指針解説書」の保育内容環境「幼保連携型認定こども園保育教育要領」の保育内容環境</p>						
他科目との関連、資格との関連						
<p>他科目との関連: 保育内容総論, 保育内容(健康)、保育内容(人間関係)、保育内容(表現)、保育内容(言葉)</p> <p>資格との関連: 幼稚園教諭2種・保育士資格</p>						
学修上の助言			受講生とのルール			
<p>自分を取り巻くものはすべて環境と理解し、保育者になろうとする自覚を持ち、生活経験を広めるよう努力すること。身の回りにある伝統行事、家庭文化、生活習慣などに関心を持ち理解する。</p>			<p>テキストや指針や要領を必ず持参のこと</p> <p>毎回演習を行うための準備を済ませ事業に臨むこと</p> <p>授業以外でも自主的に観察や世話を進んで行う</p>			

【評価方法】

評価方法	評価の割合	到達目標		各評価方法、評価にあたって重視する観点、評価についてのコメント
筆記試験				
小テスト	20	①	✓	保育における環境を理解する 保育所保育指針、幼稚園教育要領の環境について理解する 植物、小動物に関心を持ち理解を深める
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
レポート	20	①	✓	生き物の飼育方法や保育室の環境構成を考えレポートにまとめる方法が分かりやすくまた、相手に伝わるための工夫がされ、独自性が見られる。各10点
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
成果発表 (口頭・実技)	20	①	✓	チームで協力し、意欲的に取り組みができる。5点 演習支度に不備がない。5点 演習作業に対し積極的に取り組み成果が結果として表れている。10点
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
作品	20	①	✓	観察ノート作成が規定通りに取り組むことができている。5点 独自に調べ工夫して作成することができる。5点 植物の生長を観察する力が育ち、保育実践に関連付けて考えている。5点 環境の理解、命の大切さや尊さを生活の中でどのように関連させていくかを記述できる。5点
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
社会人基礎力 (学修態度)	20	①	✓	(主体性) 環境に関心を持ち、積極的に授業に参加する。 (実行力) 畑や花壇の様子を気にかけて授業以外でも世話ができる。 (課題発見力) 保育の環境に興味を持ち、保育内容に結び付け考えることができる。 (創造力) 課題を実現できるように考え、保育実践に活かすことができる。 (発信力) 自分の考えをまとめ、相手に理解しやすく伝えることができる。 (傾聴力) 相手の考えを引き出し、要点をまとめることができる。 (規律性) 授業は無断欠席、遅刻、私語など慎み、グループ活動に対して役割意識を持ち積極的に参加し円滑にできる。 演習支度を授業開始前に済ませ授業開始を待てる。 受講態度(遅刻、欠席、学習意欲欠如)が見られる場合は原点対象である 6回以上の欠席は放棄判定となる
		②	✓	
		③	✓	
		④	✓	
		⑤	✓	
その他				
総合評価 割合	100			

【到達目標の基準】

到達レベルS(秀)及びA(優)の基準	到達レベルB(良)及びC(可)の基準
保育内容環境を理解し保育の内容を構成する力を持つ。 ① チームで積極的に作業活動取り組み、植物の生育に対する観察、考察等深めることができる。② 環境は身の回りにあるものすべてが子どもの成長に大きく影響することを意識し保育内容を考えることができる。③ S(秀)=①+②+③ A(優)=①+②又は③	環境は身の回りにあるものすべてが子どもの成長に大きく影響することが理解できる。① 観察ノート、レポートなど課題に対しきちんと取り組んでいる。② B(良)=①+② C(可)=①又は②

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベル C(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
1週 /	オリエンテーション 保育内容、環境とは何かを考える。	講義 保育内容と環境とのつながりをフィードバックする	授業の目的、内容、進め方について理解し今後の作業方法、身支度などの準備の仕方を知る。 保育内容環境について理解する。	(復習) テキストのはじめに及びプリントを読みこれからの授業内容を再確認し、今後の予定を立てる。	90	計画力
2週 /	保育と環境 植物とのかかわりと保育内容を考える	講義 演習 演習後保育内容環境とのつながりをフィードバックする	野菜・草花・樹木など身近な植物は、子どもにとって動物以上に身近な存在であることに気づき、植物の利点を学ぶ。	(予習) テキストを読んでおく (復習) 観察記録ノート作成	45 45	状況把握力
3週 /	環境の構成 畑作業について学ぶ 栽培作業日誌	講義 演習 演習後保育内容環境とのつながりをフィードバックする	子どもの発達にとってふさわしい環境とは何か子どもの発達の歴史や特性子ども達の育ちを踏まえながら、環境の構成について考える。	(予習) テキストを読んでおく (復習) 観察記録ノート作成	45 45	計画力 発信力
4週 /	領域「環境」のとらえ方 畑作業の見通しを持つ	講義 演習 演習後保育内容環境とのつながりをフィードバックする	幼稚園教育要領・保育所保育指針における「環境」とは、新しい時代に向けた保育「環境」とはについて学ぶ。	(予習) テキストを読んでおく (復習) 観察記録ノート作成	45 45	計画力 発信力
5週 /	保育環境の構成 畑づくりを行う(畝づくり)	講義 演習 演習後保育内容環境とのつながりをフィードバックする	保育者は豊かな構想のもと、子どもたちの身近な環境を構成する役割を担う。自然環境に接するための工夫も欠かせないことを理解する。	(予習) テキストを読んでおく (復習) 観察記録ノート作成	45 45	発信力 状況把握力
6週 /	遊びと環境構成の関連 花壇、野菜畑を想定し野菜・花の苗植え	講義 演習 演習後保育内容環境とのつながりをフィードバックする	遊びのきっかけとなる環境構成を考えたり、遊びを持続させる環境についても考えたりする。	(予習) テキストを読んでおく (復習) 観察記録ノート作成	45 45	発信力 状況把握力
7週 /	人的環境・物的環境とは 支柱立てと環境	講義 演習 演習後保育内容環境とのつながりをフィードバックする	作業と関連づけ自然環境を生かした保育活動についてイメージする。人的環境と物的環境の重要な意味について学習する	(予習) テキストを読んでおく (復習) 観察記録ノート作成	45 45	発信力 状況把握力
8週 /	環境をデザインするとは わき芽摘み、草取りと環境の関連性とは	講義 演習 演習後保育内容環境とのつながりをフィードバックする	楽しさは保育の基本である。屋内外の環境をデザインすることは、子どもの生活や遊びを豊かにするために必要と考え計画する	(予習) 保育環境をどのように構成するかを考えておく (復習) 観察記録ノート作成	45 45	発信力 状況把握力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力

週	学修内容	授業の実施方法及びフィードバック方法	到達レベルC(可)の基準	予習・復習	時間(分)	能力名
9週 /	生きもののかかわり ネット張りとの環境の関連性	講義 演習 演習後保育内容環境とのつながりをフィードバックする	動物や昆虫類は、動くことから「生きている」ということが、子どもでも容易に理解できる。生命に対する親しみを養うことを普段の生活の中から見つけていくことを教える必要性を理解する。	(予習) 保育環境に必要な生き物の飼育方法について情報を集めておく (復習) 観察記録ノート作成	45 45	発信力 状況把握力
10週 /	社会の文化 (社会的環境)	講義 演習 演習後保育内容環境とのつながりをフィードバックする	文化は、衣食住に関するすべての生活習慣にかかわるものである。「家庭の文化」、「伝えたい文化」について考える。	(予習) テキストを読み文化について情報収集しておく (復習) 観察記録ノート作成	45 45	発信力 状況把握力
11週 /	生活と遊び 野菜収穫と環境との寒冷性を探る	講義 演習 演習後保育内容環境とのつながりをフィードバックする	遊びは、結果よりもそのプロセスにおける刺激や充実感を楽しむ満足感を得る。子どもが面白がって夢中で取り組む活動を考える	(予習) テキストを読んでおく (復習) 観察記録ノート作成	45 45	発信力 状況把握力
12週 /	生活と繋がる文字や数量 収穫を保育内容に活用する	講義 演習 演習後保育内容環境とのつながりをフィードバックする	乳幼児期では、普段の生活の中で具体的なものと関連づけて文字や数を理解することが大切であることを学ぶ。	(予習) テキストを読んでおく (復習) 観察記録ノート作成	45 45	発信力 状況把握力
13週 /	地域環境 収穫を保育内容に活用する	講義 演習 演習後保育内容環境とのつながりをフィードバックする	園外保育として地域の施設利用も視野に入れ、地域の住民や社会資源との直接のかかわりを持つことは、感謝の気持ちを持つためにも重要な意味を持つことを理解する。	(予習) 地域の環境にはどのようなことがあるのか調べる (復習) 観察記録ノート作成	45 45	発信力 状況把握力
14週 /	安全教育(DVD視聴) 収穫・作業での安全を関連付ける	講義 演習 演習後保育内容環境とのつながりをフィードバックする	安全教育の基本は、日々の遊びや生活・保育の中にある。教育要領や保育指針の中には安全な生活にかかわるねらいや内容がしっかり位置づけられていることを知る。	(予習) テキストを読んでおく (復習) 観察記録ノート作成	45 45	発信力 状況把握力
15週 /	近隣社会との連携 小テスト 栽培日誌提出	講義 演習 小テストのフィードバックをする	保育者は率先して地域の人々と挨拶を交わすなど、日頃から地域の人とのかかわりを大切にするこことや、小学校との連携も考えていくことを理解する。	(予習) 近隣社会資源の情報を集める	90	発信力 状況把握力

能力名: 主体性 働きかけ力 実行力 課題発見力 計画力 創造力 発信力 傾聴力 柔軟性 状況把握力 規律性
ストレスコントロール力